

H29年度 第1回 村上市地域包括支援センター運営協議会 会議録

日時：平成29年7月21日

午後1時30分～

会場：村上市役所 4階 大会議室

1 開会

2 あいさつ 西村会長

地域包括の事業は多岐にわたっている。委員の皆様と勉強させてもらいたい。

3 委員紹介 (資料1参照)

4 議題

(1) 地域包括支援センター運営協議会設置要綱について (資料2)

事務局：資料2により、説明

(2) 平成28年度地域包括支援センター事業報告について

事務局：資料3、4により説明

元気応援通所サービスCは、H28年度から総合事業として実施

(3) 平成29年度地域包括支援センター事業予定について (資料5)

事務局：資料5により説明

① 介護予防・日常生活支援総合事業・介護予防事業関係

事務局：<元気応援通所サービスC>

山北地区は一部委託から、全委託へ変更。

朝日地区、神林地区は、2コース(15回/1コース)から、1コース(25回/1コース)へ変更。

リハビリテーション大学の先生による個別指導は好評である。

<転倒予防>

各集落で実施。1～2回/月であったところを、週1回の開催にすることを目標としている。

リハビリ専門職活用事業関係

事務局：地域における介護予防強化。

リハビリの専門職に指導してもらおう。1回無料。今年度4件の申し込みがある。

委員：どのような内容の指導を行うのか？

事務局：個々の要望にあわせ、運動機能や口腔機能の維持・改善のための指導を行う。

② 権利擁護事業（資料 8）

委員：高齢者虐待はあってはならない。虐待防止に関しては充実した対策であってほしい。

法人後見制度は、村上市でも H30 年度から予定しているとのことだが、早期に進めてもらいたい。社協で何人受け入れられるのか？

事務局：村上市社会福祉協議会からは検討会に参加してもらっており、法人後見実施となるとそこで受けることになる。受任できる人数は、ケースも様々であるため法人後見制度が始まってみないとわからない。

委員：市民後見人の村上市の見通しは？

事務局：県内でも行っているところはある。村上市においては、成年後見制度利用促進検討会でも視野に入れている。市民後見人養成には約 50 時間のカリキュラム受講が必要。また後見人は家庭裁判所が選任するため、養成研修を受けた市民を単独で選任することは実情として難しい。（現状として、単独選任されているのは県内でも佐渡市のみ）

故に県内では市民後見人養成は進んでいない。村上市では、市民後見人の養成研修を受けた方を法人後見の支援員として経験していただく方向である。

委員：虐待に関して、通報してくる方は、どなたが多い？

事務局：1 位がケアマネージャー、2 位が警察、その他は、知人、本人、家族、親族。

委員：高齢者虐待防止ネットワーク会議のメンバーは誰ですか？

事務局：区長代表、民生委員、福祉関係者、サービス事業所、警察、ケアマネ代表、各地区民生委員。 昨年 25 人 今年度は 20 人。毎年 1 回開催。

委員：ケアマネージャーの事業所数と人数を教えてください。

事務局：事業所は市内 2 3 事業所あり。1 事業所がやめ、新たに 2 事業所が開設した。ケアマネージャーは、村上市のケアマネ連絡会には、60 人ほど集まる。現在、山北地区は新規担当件数が減っているが、朝日地区は多い。

③ 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業・ケアマネ関係

事務局：ケアマネージャーのバックアップ、後方支援。困難ケース、同行訪問、ケース検討等、非常に重要。定期的にケアマネ連絡会を行う。事務連絡、最新情報の提供、ケアマネージャーの研修会等を行う。

④ 在宅医療・介護連携推進事業（資料 6）

⑤ 生活支援体制整備事業（資料 7）

⑥ 認知症総合支援事業

事務局：12月8日、介護者の集いにてリハビリテーション病院の今村先生に講話していただく。

昨年度の認知症サポーター養成講座の依頼は、14件であった。今年はずでに14件の申し込みがある。

見守り事業のステッカーは、現在7件に配布している。

委員：出前講座には、認知症サポーター養成講座以外にどのようなものがある？

事務局：地域包括ケアシステム

委員：認知症サポートガイドはどこかにのっているのか？

事務局：村上市のホームページにも掲載、ダウンロードできる。

5 意見交換

委員：現在、包括でどのような問題があるのか？

事務局 村上：1人暮らしのアルコール依存。

地域の支えあいが薄い。

荒川：身内がない1人暮らし高齢者の対応（サービス利用等）。

神林：虐待（疑い）への対応、介入時が難しい。

母と息子の2人暮らしが特に多い。

朝日：地域間のつながり深い方だが、困難ケースとなる家庭は親族が投げ出すしたり、家庭内別居の場合が多い。高齢者（夫婦）と未婚の息子世帯は介護不足等課題があるが、民生委員が入りにくい。

山北：高齢化率45%。在宅での生活が短く、すぐに施設入所する方が多い。その為、在宅ケアマネに余裕がある。

6 その他

<委員感想>

- ・高齢化予備軍のサポートをしていければ良い
- ・委員は、自分の自覚で動いている。幅広い仕事であると感じている。
- ・救急キットは3年前から配布している。情報が変わっている可能性が大きい
ため、再度確認が必要と思われる。誰が更新するのか？
- ・包括支援センターはたくさんの仕事があることに驚いた。自分にはどのようなことができるのか、自分にできることを考えていく。
- ・介護予防事業に参加している人はよいが、来ない人が問題か。どう働きかけするか。
- ・認知症徘徊高齢者用のステッカーは、もっとPRしたほうがよい。
- ・介護力低下という現状。単身・高齢者のみ世帯増えている。また、介護者がいても知的・発達障害や認知症などで十分とはいえない世帯も増えている。

7 閉会